

第3学年 国語科学習指導案

3年A組 28名
指導者 福井 光恵

1 単元名 伝えよう！民話・昔話のひみつ

『三年とうげ』(光村図書 3年下)

2 指導にあたって

学習者は、話すことや読書が好きで、日々の出来事や楽しかったことを教師や友達と話したり、自分の好きなジャンルの本を時間いっぱい読んでいたりしている。しかし、読む本の種類に偏りが見られ、読んだ本のよさを理由付けて話せる学習者は少ない。学習者は、これまで「読むこと」の学習を通して、叙述を基にしながら場面ごとの様子や登場人物の気持ちを読み取り、想像して、自分なりの考えをもつことができるようになってきた。しかし、学習者自身で構成を意識しながら物語全体を捉え、その物語のよさを見付けるまでには至っていない。そこで本単元では、叙述を基にして物語を読み深めながら、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりとは結び付けて具体的に想像することができるようにしていきたい。また、構成を意識しながら物語全体を捉え、その物語のよさを見付けることを通して、文章から読み取ったことを使って自分の言葉で思いや考えを表現できる力を養いたいと考え、本単元を設定した。

本単元では、『三年とうげ』を扱う。『三年とうげ』は、朝鮮半島に伝わる民話である。物語に出てくる言い伝えがリズムよく表現されている楽しさ、トルトリの機転の利いた対応で不幸が幸せに転じたとんちの側面など、場面の様子を具体的に想像しながら、楽しんで読むことができる教材である。また、本教材は物語の組み立てがはっきりしており、四つの場面ごとの違いが分かりやすく、登場人物の変化がつかみやすい。これらのことから、登場人物の行動などを読み取りながら登場人物の心情を考え、物語を読むことのおもしろさを発見して想像豊かに読ませたい。そして、物語全体を捉え直すことにより、『三年とうげ』のよさを見付けることができるようにしたい。

本単元における学習者の目標は、自分が選んだ民話・昔話のひみつを紹介するリーフレットを作り、友達に紹介することである。教室に民話・昔話作品コーナーを設置し、興味・関心をもちながら並行読書ができるようにする。『三年とうげ』の学習を通して、読むことのおもしろさを感じ、他の民話・昔話へと読み広げていくことができるようにしたい。第一次では、本単元の学習計画を立てる。第二次では、叙述を基に、登場人物の変化を捉えることができるようにするとともに、複合語、擬音語・擬態語にも着目し、言語感覚を豊かにしていく。『三年とうげ』で見付けたおもしろさを、「話の設定」「登場人物の変化」「登場人物の行動や様子」「言葉の使い方」等といった観点で捉えさせていく。そして、おもしろさの観点を書いた付箋を本文や自分の選んだ民話や昔話にも貼っていくようにする。友達との対話の場面では、付箋や手引き等を活用し、物語のおもしろさについて自分の考えを話し合うことで、一人一人が思考を広げ、深められるようにしたい。主体的・対話的な学びを通して、それぞれの見方・考え方のよさや表現のよさに気付かせるとともに、「一番伝えたいおもしろさのひみつ」について自分の考えを明確にしたり、作品への理解を深めたりできるようにする。第三次では、作成したリーフレットを友達と読み合うことで、自分と他者の考え方に違いがあることに気付き、さらに自分の思いや考えを広げたり深めたりする機会としたい。これらの学習を通して、「読むこと」の楽しさを味わわせるとともに、自分の思いや考えを表現する力の育成を図っていきたい。

3 単元の目標

(1) 活動目標 民話・昔話のおもしろさのひみつリーフレットを作って、伝え合おう

(2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができるようにする。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	知識・技能 (1)オ
○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりとは結び付けて具体的に想像することができるようにする。	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりとは結び付けて具体的に想像している。	思考・判断・表現 C(1)エ
○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができるようにする。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	思考・判断・表現 C(1)カ
○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を育てる。	○進んで、登場人物の気持ちの変化について想像しようとし、学習課題に沿って、リーフレットを書いたり、紹介したりしようとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想と評価計画

学習活動と学習者の意識 (全10時間)	主な指導・支援	評価規準
<p>事前 学級で民話・昔話を読み、関心・意欲を高める。</p> <p>世界には、いろいろな民話や昔話があるんだなあ。</p> <p>40冊全部読みたいな。この本は、どんな話だろう。</p> <p>民話と昔話って何か違いがあるのかな。</p>	<p>○学習者の興味や読む力に合わせた民話や昔話を用意する。</p> <p>○紹介したい本を事前に一冊選ばせておくことにより、学習者が見しをもてるようにする。</p>	
<p>第一次 民話・昔話のリーフレットを作る計画を立て、お気に入りの一冊を選び、『三年とうげ』を読む。 1時間</p> <p>みんな、いろいろな民話や昔話を読んでね。さくさく読んで民話や昔話があるんだなあ。</p> <p>わたしのお気に入りの一冊。どんな話や昔話のおもしろさのひみつを見付けられるかな。</p> <p>病気になったおじいさんが、トルトリのおかげで元気がなったよ。トルトリの考えがもしかろいな。</p>	<p>○リーフレット作りを提示し、『桃太郎』でゴールをイメージできるようにする。</p> <p>○範読を聞いた後に、登場人物やあらすじなどを簡単に把握させる。</p> <p>○物語を四つのまとまりに分け、組み立てを捉えられるようにする。</p>	<p>○活動に興味・関心を持ち、進んで活動に取り組んでいる。(発言・観察)</p>
<p>第二次 叙述を基に登場人物の気持ちを想像したり、おもしろさの観点に着目しながら、『三年とうげ』を読む。 6時間 (本時6/6)</p>		
<p>①第一場面「始まり」の部分で、おもしろさのひみつを見付ける。</p> <p>春も秋も美しいとうげだというところが分かるよ。わたくしが見てみたいなあ。</p> <p>恐ろしい言い伝えから、なぜ「三年とうげ」なのか分らない。わたくしは信じているんだね。</p> <p>この場面は、物語の「始まり」だね。登場人物や場の紹介がされているね。</p>	<p>○学習者が登場人物の気持ちや考えのよさをワークシートに書き出し、書いてもよいことにする。</p> <p>○理由の書き方や話合いの仕方の手引きを活用する。</p>	<p>○叙述を基に、三年とうげの美しさや恐ろしさを伝えている。(ワークシート・発言)</p>
<p>②第二場面「出来事(事件)が起こる」の部分で、おもしろさのひみつを見付ける。</p> <p>おじいさんは、真っ青になったり、おいおい泣いたりしているから、とても心配で不安な気持ちなんだ。</p> <p>おじいさんの病気がひどくなるばかりだから、まわりの人も言い伝えをもっと信じてしまいたいなあ。</p> <p>この場面は、おじいさんが三年とうげで転んで病気になるよ。事件が起こったことが書かれているね。</p>	<p>○学習者が登場人物や物事を深く考え、毎時間、おもしろいと思う叙述に線を引かせ、その観点をおもしさを示すようにする。</p> <p>○毎時間、学習者の発言を整理して、自分の意見と見比べるとできるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、言いつづけて病気になるおじいさんの気持ち等を読み取っている。(ワークシート・発言)</p>
<p>③第三場面「出来事(事件)が解決する」の部分で、おもしろさのひみつを見付ける。</p> <p>おじいさんは、「ばかな。…」と言っているから、トルトリのことを信じられていないことが分かる。</p> <p>おじいさんの言葉に納得したことが分かるよ。おじいさんの気が変わったね。</p> <p>この場面は、事件が解決したことが書かれているね。前の場面とは、おじいさんの様子が全然違うね。</p>	<p>○物語が四つのまとまりに分れて、『三年とうげ』に再確認できるように捉えられる。</p> <p>○登場人物の気持ちや行動等を比べて読むようにする。</p> <p>○『三年とうげ』の中で、「一番伝えたいおもしろさの理由」を一つ書く。</p> <p>○物語のおもしろさを見付ける観点を確認し、「一番伝えたい理由」と「その理由」を一人一人の感想にさせる。</p>	<p>○叙述を基に、トルトリの機転の利いた対応で変化したおじいさんの気持ちの変化を読み取っている。(ワークシート・発言)</p>
<p>④第四場面「むすび」の部分で、おもしろさのひみつを見付ける。</p> <p>歌やうれしそうなおじいさんの様子が書かれていておもしろい。読むとむすびがわかる。</p> <p>「えいやらえいやら…」の歌を歌ったのは、おじいさんかな。トルトリが元気になったのかもしれない。</p> <p>この場面は「むすび」で、三年とうげでおじいさんが転んで、元気がなくなった様子が書かれているね。</p>	<p>○リーフレットの書き方を手引で示し、組み立ての手順を捉えながら、おもしろさの観点に着目して、物語の感想をまとめる。</p> <p>○リーフレットをタブレットで撮影し、共有する。</p> <p>○感想をより、一人一人の感想を共有できるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、すっかり元気に転じているおじいさんの気持ちを伝えている。(ワークシート・発言)</p> <p>○民話・昔話の組み立てを理解している。(発言等)</p> <p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やしている。(ワークシート・発言)</p>
<p>⑤第二場面と第四場面を比べて読み、おもしろさのひみつを見付ける。</p> <p>真っ青な顔をしていたおじいさんが、とうげから戻るとすっかり変わっているところがおもしろいな。</p> <p>転ばないようにしていたおじいさんが、とうげから戻るとすっかり変わっているところがおもしろいな。</p> <p>「もう3年しか…」と言っていたのに100年とか200年も長生きできると言っていて、変わりすぎているよ。</p>	<p>○リーフレットの書き方を手引で示し、組み立ての手順を捉えながら、おもしろさの観点に着目して、物語の感想をまとめる。</p> <p>○リーフレットをタブレットで撮影し、共有する。</p> <p>○感想をより、一人一人の感想を共有できるようにする。</p>	<p>○『三年とうげ』のおもしろさに対する自分の考えをもち、話し合う一人一人の感想に気づいている。(ワークシート・発言・観察)</p>
<p>⑥物語全体を通しての「一番伝えたいおもしろさのひみつ」と「その理由」を話し合い、自分の考えを再考する。</p> <p>わたしは、このおもしろさのひみつが欠かせないと思うな。</p> <p>民話や昔話のおもしろさのひみつって、たくさんあるんだなあ。</p> <p>自分の意見と友達の意見の違いがよく分かっておもしろいな。</p>	<p>○リーフレットの書き方を手引で示し、組み立ての手順を捉えながら、おもしろさの観点に着目して、物語の感想をまとめる。</p> <p>○リーフレットをタブレットで撮影し、共有する。</p> <p>○感想をより、一人一人の感想を共有できるようにする。</p>	<p>○『三年とうげ』のおもしろさに対する自分の考えをもち、話し合う一人一人の感想に気づいている。(ワークシート・発言・観察)</p>
<p>第三次 民話・昔話のおもしろさのひみつリーフレットを作り、紹介する。 3時間</p>		
<p>①②自分が選んだ民話・昔話をリーフレットにまとめる。</p> <p>みんなが驚くようなおもしろさのひみつを伝えたいな。</p> <p>どんな工夫をすれば、魅力的なリーフレットになるだろう。</p> <p>早くみんなにリーフレットを紹介したいな。</p>	<p>○リーフレットの書き方を手引で示し、組み立ての手順を捉えながら、おもしろさの観点に着目して、物語の感想をまとめる。</p> <p>○リーフレットをタブレットで撮影し、共有する。</p> <p>○感想をより、一人一人の感想を共有できるようにする。</p>	<p>○登場人物の気持ちの変りや想像したり、おもしろさの観点に着目しながら、学習課題に沿って、物語の感想(リーフレット)を書くことができる。(発表・リーフレット)</p>
<p>③友達にリーフレットを紹介し、感想を伝え合う。</p> <p>違うお話なのに、組み立てが同じだな。違う民話や昔話も読みたいな。</p> <p>同じ本を選んだけれど、○○さんとは理由の部分で違っていたよ。</p> <p>この話は知っているけれど、そんなひみつがあったんだね。</p>	<p>○リーフレットの書き方を手引で示し、組み立ての手順を捉えながら、おもしろさの観点に着目して、物語の感想をまとめる。</p> <p>○リーフレットをタブレットで撮影し、共有する。</p> <p>○感想をより、一人一人の感想を共有できるようにする。</p>	<p>○進んで友達にリーフレットを紹介しようとしている。(発言等)</p> <p>○一人一人の感じ方に気づいている。(タブレット)</p>

5 本時の学習

(1) 本時の指導について

本時は、『三年とうげ』の「一番伝えたいおもしろさのひみつ」をグループや学級全体で話し合う。それぞれの見方・考え方のよさや表現のよさに気付かせるとともに、主体的・対話的な学びを通して、「一番伝えたいひみつ」の自分の考えを明確にしたり、作品への理解を深めたりできるようにする。

本時のねらいにせまるために、「話すこと・聞くこと」が苦手な学習者には、これまで読み進めてきた各場面のワークシートを見返すことにより、物語の中で「一番伝えたいひみつ」を見付ける観点を振り返ることができるようにし、自分の言葉で伝え合い、話し合うことができるようにする。次時からの民話・昔話のリーフレット作りのために、グループや学級全体で対話することを通して、おもしろさの観点の見付け方を再確認し、場面の移り変わりや物語の構成を意識したり、物語全体を捉え直したりすることができるようにする。

(2) 目標

① 活動目標

『三年とうげ』の「一番伝えたいおもしろさのひみつ」と「その理由」を話し合おう。

② 指導目標

『三年とうげ』の読み取りを通して、「一番伝えたいおもしろさのひみつ」への自分の考えをもち、伝え合い、話し合うことによって、自分の考えを明確にしたり、作品への理解を深めたりできるようにする。

(3) 展開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">『三年とうげ』の「一番伝えたいおもしろさのひみつ」と「その理由」を話し合おう。</div>	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習のめあてをつかませる。 ○これまでの学習を整理したものを掲示しておく。</p>	
<p>2 グループになり、それぞれの考えを話し合い、グループで「一番伝えたいひみつ」について、話し合いを広げ、深める。 ○グループになる前に、自分が思う「一番伝えたいひみつ」と「その理由」を確認する。</p>	<p>2 自分の考えを書いた付箋を用い、話し合わせる。 ○これまでの文章の読み取りを生かし、自分の考えと同じ所や違うところを見付けながら、話し合うことができるようにする。</p>	<p>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもっている。 (発言・観察)</p>
<p>3 グループの話し合いを生かして、自分の考えを発表する。</p>	<p>3 学習者の発言を整理して板書することによって、それぞれの意見の共通点や相違点が明らかになるようにする。 ○それぞれの場面がないと、『三年とうげ』のおもしろさが伝わらないことに注目し、文章の構造のおもしろさに気付かせることができるようにする。</p>	
<p>4 「一番伝えたいひみつ」と「その理由」を再考する。</p>	<p>4 「一番伝えたいひみつ」と「その理由」について、友達と話し合いをしてどうだったのかを発表させる。 ○話し合うことのよさを学習者が感じられるようにする。 ○『三年とうげ』の読み方が、他の民話・昔話の本へと読み広げていく時の読み方にもつながるということを確認する。 ○次時からは、友達に向けたリーフレットを作ることを伝え、意欲を高める。</p>	<p>作品のおもしろさについて、自分の考えを伝え合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 (ワークシート・発言)</p>

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	文章を読んで理解したことに基づいて、登場人物の気持ちやおもしろさの観点に着目しながら「一番伝えたいひみつ」に対する自分の考えを明確にするとともに、話し合うことで一人一人の感じ方などに違いがあることに気付き、作品への理解を深めている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	友達に伝える時の話型を示すことで、自分の考えを伝えることができるようにする。 登場人物の気持ちやおもしろさの観点に着目することを再度確認し、自分の考えを明確にできるようにする。